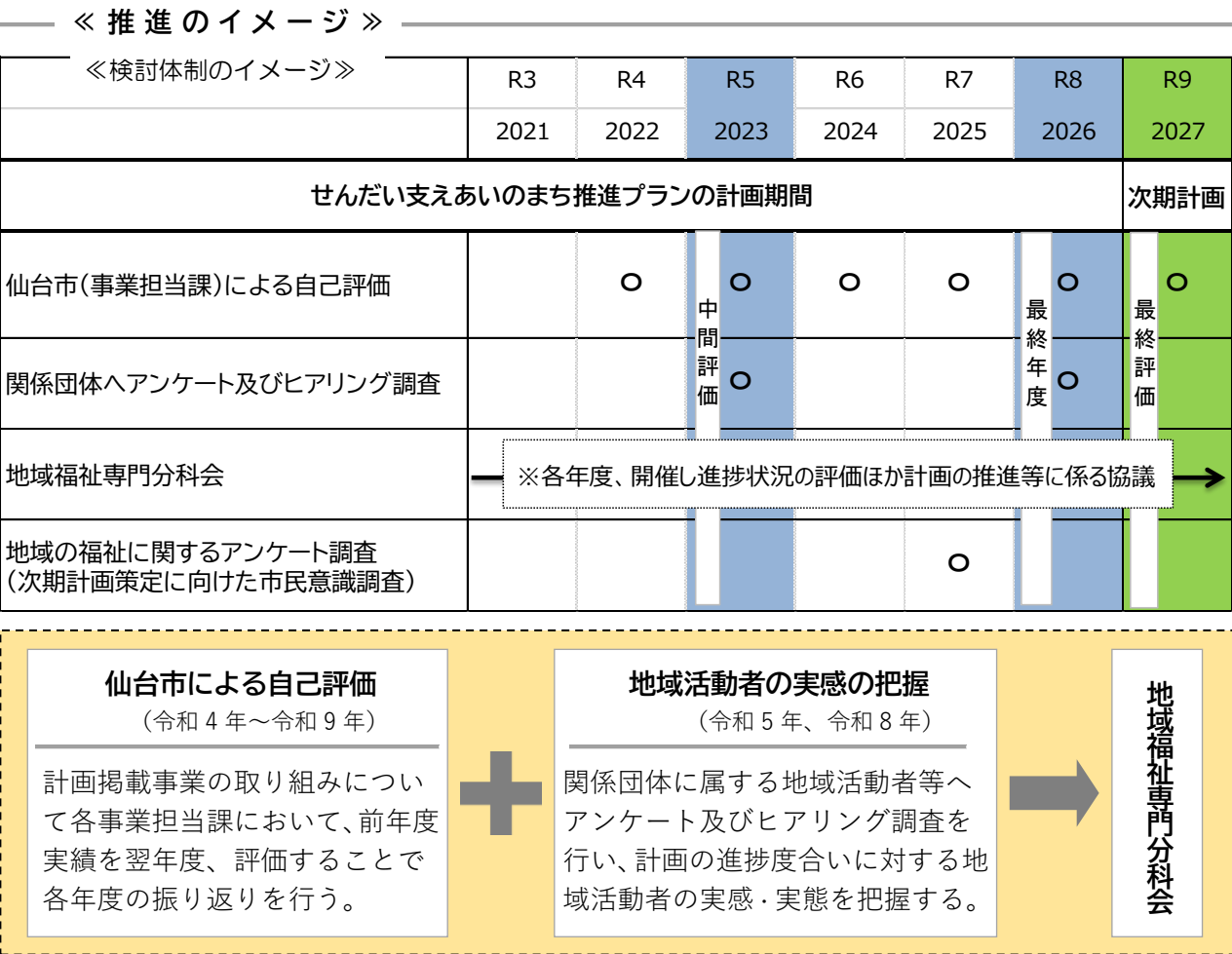


せんだい支えあいのまち推進プランの推進及び評価方法(案)について

1 計画の推進について

「せんだい支えあいのまち推進プラン」(令和 3 年度～令和 8 年度) に基づく施策を効果的に推進するため、各施策の取り組み状況を把握し、進捗管理及び評価を行う。



(1)進捗管理

本計画の推進に際しては以下の通り進捗管理を行う。

- ①毎年度において、事業担当課による自己評価を通し、振り返りを行う。
- ②中間年度である令和 5 年度と最終年度の令和 8 年度には、地区社会福祉協議会や民生委員児童委員連絡協議会等、地域の関係団体等(今後調整)へ、アンケート及びヒアリング調査を行う。ヒアリング等は、本計画で示す理念や目標といった方向性の進捗の度合い等を、地域活動者等の実感及び実態として把握するものとする。
- ③自己評価および、実態把握の結果を含めた各年度の進捗の状況については、地域福祉専門分科会へ報告し、最終的な全体評価を行う。

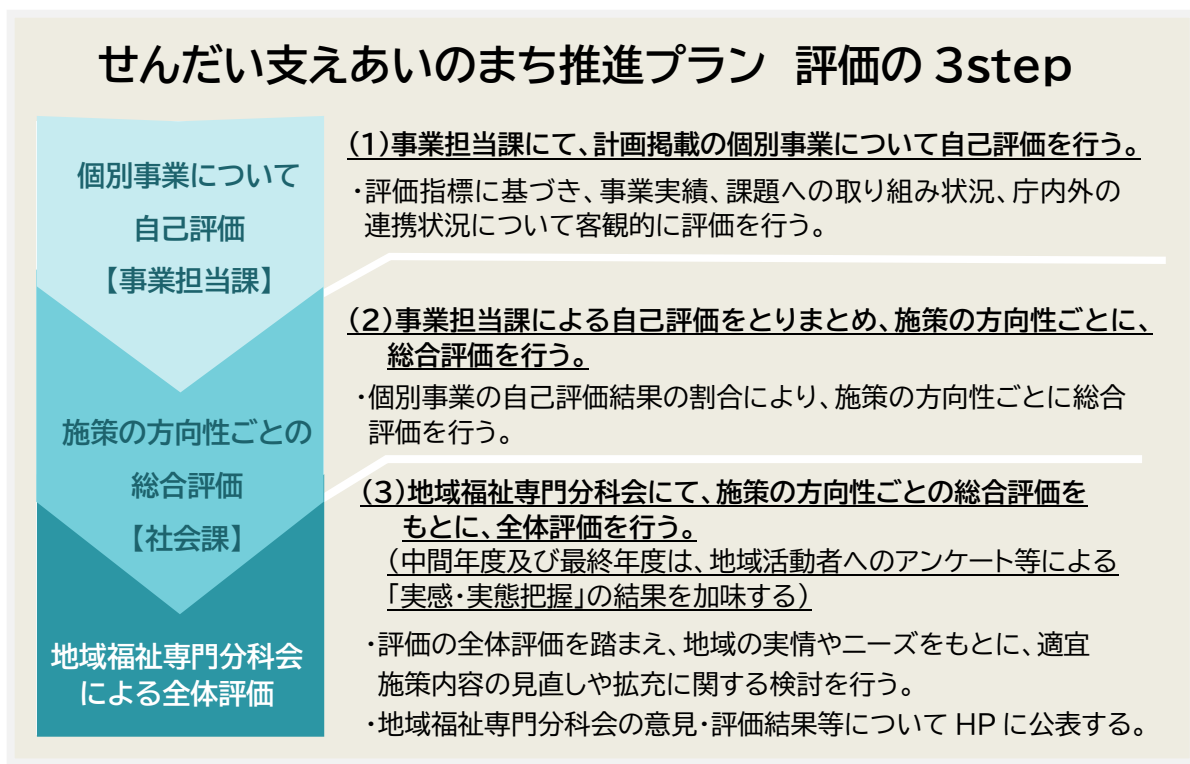
なお、令和 5 年度の実感・実態把握の結果は計画期間後半の取り組みの推進方策に反映させるほか、令和 8 年度の結果は次期計画の策定に活かしていく。

## 2 評価の概要

本計画内、「第6章 計画の推進」のとおり、計画の策定及び推進、その他地域福祉の推進に関する事項を審議することを目的に設置する「仙台市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」において、地域の実情やニーズを捉えながら、評価を実施する。

### (1) 評価方法

本計画では、基本理念及び基本目標を踏まえた3つの基本的方向について、12の施策の方向から事業を展開していくことで、包括的な支援体制の整備を推進していくこととしている。よって、各方向性から展開される全個別事業の実施状況について各事業担当課による自己評価を行い、その結果に基づき、施策の方向性ごとの総合評価を行う。地域福祉専門分科会では、施策の方向性ごとの総合評価を報告し、計画全体の評価を行う。また、計画の内容に資する新たな事業が開始された場合は、適宜、評価対象に取り込んでいくことで、計画全体の拡充を図る。



### (2) 評価結果の公表

評価結果については、地域福祉専門分科会による意見・評価結果等を踏まえてホームページにて公表し、市民からの意見等を施策展開の参考とする。

### (3) 意見の反映

地域福祉専門分科会の意見・評価結果を踏まえ、地域の実情やニーズに対応した、施策内容の見直しや拡充に関する検討を行う。